

# 教科課程

## 理学療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	英語と英会話 English Conversation	必修	講義	30	(2)		30					医療現場に関係する英単語・英文・文法・発音等を修得することができる。	
	情報科学 Informatics	"	"	30	(2)	30						情報科学の基礎理論を学び、情報機器の操作・仕組みを理解し理学療法に必要な情報処理能力を修得する事ができる。	
	物理学 Physics	"	"	30	(2)	30						人体の運動における物理的作用とその影響や、物理療法の基礎となる物理的知識を修得する事ができる。	
	倫理学 Ethics	"	"	30	(2)	30						社会人として色々な見解を示す人がいるが、一般に行動の規範となる物事の道徳的な評価ができるようになる。	
	文章表現 Documentation	"	"	30	(2)	30						読解力を身につけ、レポート・実習ノートの書き方を修得する事ができる。	
	国際医療福祉 International Medical Welfare	"	演習	30	(1)				30				米国の理学療法教育や理学療法、リハビリテーションの実践に携わる施設を訪問し、そのシステムや方法を理解できる。
	コミュニケーション学 Communication	"	講義	30	(2)	30							グループワークを通して、医療人として話す・表現するというコミュニケーション能力を修得することができる。
	統計学 Statistics	"	演習	30	(1)		30						理学療法研究に必要な統計学的知識を深め、実践することができる。
	保健体育 Health and physical education	"	"	30	(1)	30							運動を通じて健康、疾病及び障害等について、その予防や保健的概念を習得する。
専門基礎分野	解剖学Ⅰ AnatomyⅠ	"	講義	60	(4)	60						人体の基本構造を骨・関節を中心に学習し、三次元的に説明する事ができる。	
	解剖学Ⅱ AnatomyⅡ	"	"	60	(4)	30	30					人体の構造を脳や脊髄、末梢に走行している神経を中心に多角的に説明できる。	
	解剖学Ⅲ AnatomyⅢ	"	"	60	(4)		60					人体の各臓器や組織などを系統的に整理して説明できる。	
	生理学Ⅰ PhysiologyⅠ	"	"	30	(2)	30						生理学の基礎、血液・組織液、消化・吸収、栄養と代謝、体温調節、腎臓と尿の生成、内分泌などが理解できる。	
	生理学Ⅱ PhysiologyⅡ	"	"	30	(2)		30					脳や脊髄、末梢神経、自律神経を中心に、その構造と機能について多角的に説明できる。	
	運動学Ⅰ KinematicsⅠ	"	"	30	(2)	30						人体の各関節の機能運動学や基本的な動作における力学的作用とその分析方法を修得することができる。	
	運動学Ⅱ KinematicsⅡ	"	"	30	(2)		30					人体の各関節の機能運動学や基本的な動作における力学的作用とその分析方法について修得することができる。	
	人間発達学 Human Development Studies	"	"	30	(2)		30						人間の発達を、社会的・神経学的・運動発達学的側面から説明できる。

# 理学療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野  疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	人体の構造と機能及び心身の発達  動作学 Kinesiology	必修	講義	30	(2)		30					人間の生活動作や身振りなどの動きの果たす機能や役割を体系的に説明できる。
	体表解剖学 I Surface Anatomy I	"	演習	30	(1)	30						触察を通して筋肉の収縮・動き、その際の体表の変化などが分かるようになる。
	体表解剖学 II Surface Anatomy II	"	"	30	(1)	30						触察を通して筋肉の収縮・動き、その際の体表の変化などが分かるようになる。
	病理学 Pathology	"	講義	30	(2)		30					生体にかかる病的障害の原因、成立過程及び結果を正しく把握し、刺激に対する組織的変化、機能的変化を説明できる。
	臨床心理学 Clinical Psychology	"	"	30	(2)	30						心理アセスメントと心理療法を中心に自己及び患者の心理について、各種心理テストを用いて理解する事ができる。
	機能障害学 Functional Disability Studies	"	"	30	(2)		30					理学療法で扱う機能障害を、特に運動器障害を中心に体系的に理解する事ができる。
	精神医学 Psychiatry	"	"	30	(2)			30				精神障害の病因、類型、経過、治療などの精神医学の基礎を理解し、面接法についても修得することができる。
	小児科学 Pediatrics	"	"	30	(2)			30				成長・発達時期に起因する疾患の原因、診断、治療について理解し説明できる。
	老年学 Introduction to Aging	"	"	30	(2)			30				加齢による社会的・身体的・心理的变化や日本の高齢化対策に関する法律・制度とその実践について修得する事ができる。
	整形外科学 Orthopedics	"	"	30	(2)			30				整形外科で扱う疾患の診断・治療の基本的な考え方を理解し説明できる。
	神経内科学 I Neurology I	"	"	30	(2)			30				神経内科で扱う疾患について病態・診断・治療について理解し説明できる。
	神経内科学 II Neurology II	"	"	30	(2)				30			神経内科で扱う疾患について病態・診断・治療について理解し説明できる。
	内科学 Internal Medicine	"	"	30	(2)			30				一般内科で扱う疾患について、診断と治療の基本的な考え方を理解し説明できる。
	薬理学 Pharmacology	"	"	30	(2)				30			薬物の特徴、作用機序、人体への影響を知り、医薬品を正しく理解する。
	リハビリテーション 医学 Rehabilitation Medicine	"	"	30	(2)				30			高度化する医療ニーズに対応するための基礎知識を習得し、理解力、観察力、判断力を養う。
リハビリテーション 概論 Introduction to Rehabilitation	"	"	30	(2)			30				リハビリテーションの理念や地域包括ケアシステム等を理解し、理学療法士が果たすべき役割、多職種連携について学ぶ。	
生活環境福祉論 Living Environment Welfare System	"	"	30	(2)				30			地域における生活行動を支援するための住宅改造、福祉機器の介入など日常生活動作と直結した生活環境を理解できる。	

# 理学療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	基礎 理学 療法	理学療法概論 Introduction to Physical Therapy	必修	講義	30	(2)	30					理学療法の歴史や法律、教育カリキュラムや治療システムなどについて説明する事ができる。
		理学療法研究法Ⅰ Methods of Clinical Research I	"	"	30	(2)			30			近年の理学療法では、科学的根拠に基づく医療の提供が必要であるため、その必要性や研究方法などを学ぶ。
		理学療法研究法Ⅱ Methods of Clinical Research II	"	演習	60	(2)				60		理学療法分野の課題研究を通して、評価や治療の妥当性等の検証方法、発表方法を学ぶ。
		総合演習Ⅰ Integration I	"	"	30	(1)			30			地域密着型学外演習を通じて礼節を学び、能動的学修により創造性を高め、自らの課題に気づき、解決策を見いだせる。
		総合演習Ⅱ Integration II	"	"	30	(1)				30		疾病や障害の評価・治療プロセスにおいて基礎知識と臨床を結びつける総合的指向を課題型学習を通して修得できる。
		総合演習Ⅲ Integration III	"	"	270	(9)					270	国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、セミナーや模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。
	理学療法 管理学	理学療法管理学 Physical Therapy Management	"	講義	30	(2)			30			医療保険・介護保険制度を理解し、職場管理、理学療法教育に必要な能力を培うとともに、職業倫理を高める態度を養う。
	理学療法 評価学	理学療法評価学Ⅰ Physical Therapy Evaluation I	"	講義 演習	60	(3)	30	30				評価の意義や目的を踏まえて各種検査測定の方法、データ解釈の基礎を修得する事ができる。
		理学療法評価学Ⅱ Physical Therapy Evaluation II	"	"	60	(3)		60				評価の意義や目的を踏まえて各種検査測定の方法、データ解釈の基礎を修得する事ができる。
	理学療法 治療学	運動療法学Ⅰ Therapeutic Exercise I	"	"	30	(1)		30				身体の運動を科学的に捉え、運動を基礎として機能回復に応用する運動治療を修得する事ができる。
		運動療法学Ⅱ Therapeutic Exercise II	"	"	30	(1)			30			身体の運動を科学的に捉え、運動を基礎として機能回復に応用する運動治療を修得する事ができる。
		物理療法学 Physical Medicine	"	演習	30	(1)	30					物理特性を応用した治療法の原理と各種物理療法に対する生体反応を理解し、その適応を説明できる。
		理学療法治療学 (運動器疾患) Physical Therapy for Orthopedics	"	講義 演習	60	(3)			30	30		整形疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、演習を交えながら修得できる。
		理学療法治療学 (脳血管疾患) Physical Therapy for Neurosurgery	"	"	60	(3)			30	30		脳・血管系の疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、演習を交えながら修得できる。
		理学療法治療学 (神経筋疾患) Physical Therapy for Neuromuscle	"	"	60	(3)			30	30		神経・筋疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、演習を交えながら修得できる。
		理学療法治療学 (脊髄損傷) Physical Therapy for Spinal Cord Injury	"	"	30	(1)				30		脊髄損傷疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、演習を交えながら修得できる。
		理学療法治療学 (呼吸器疾患) Physical Therapy for Respiratory	"	"	30	(1)			30			呼吸器疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、演習を交えながら修得できる。

## 理学療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	理学療法治療学 (循環器疾患) Physical Therapy for Circulation	必修	講義 演習	30	(1)			30				循環代謝疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、演習を交えながら修得できる。	
	理学療法治療学 (小児) Physical Therapy for Pediatrics	"	"	30	(1)				30			小児疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、演習を交えながら修得できる。	
	義肢装具学 Prosthesis & Orthosis	"	"	60	(3)			30	30			義手、義足、装具の基本的構造と機能について理解し、その種類や適合方法、切断の理学療法について説明できる。	
	理学療法技術論 Physical Therapy Skill	"	"	60	(3)				60			疾患に関する知識や評価した内容を基礎として、治療アプローチ方法を修得できる。	
	地域理学療法学 Physical Therapy for Local Area	"	講義	30	(2)				30			医療施設内だけに留まらない地域に根ざした理学療法とは何か、また理学療法士の役割などを説明できる。	
	日常生活活動論 Activities of Daily Living	"	"	30	(2)			30				対象者に発生する日常生活活動の問題や課題に対する分析力を修得できる。	
	見学実習 Field Trip	"	実習	40	(1)		40					リハビリテーションチームにおける理学療法士の位置づけと役割を理解する。	
	評価実習 Practice of Assessment	"	"	240	(6)				240			指導者の指導の下、実際の症例において理学療法評価を計画・実施し、治療計画を立案できる。	
	総合臨床実習Ⅰ Clinical PracticeⅠ	"	"	320	(8)					320		指導者の指導の下、実際の症例において理学療法評価や治療を選択し、実施できる。	
	総合臨床実習Ⅱ Clinical PracticeⅡ	"	"	320	(8)					320		指導者の指導の下、実際の症例において理学療法評価や治療を選択し、総合的に実施できる。	
	総時間数				3,200	(143)	510	550	540	690	640	270	